

三笠ジオパーク構想

エリア内における

ジオツアーカーの試験的開催とアンケート結果

Preliminary geo-tour within the area of the Miksa Coalfield Geopark Plan, and its questionnaire survey.

栗原 憲一 新居 忠浩
1, 3 2, 3

1 三笠市立博物館

〒068-2192 北海道三笠市幾春別錦町 1-212-1
Email kurihara582@city.mikasa.hokkaido.jp

2 三笠市役所企画経済部企画振興課

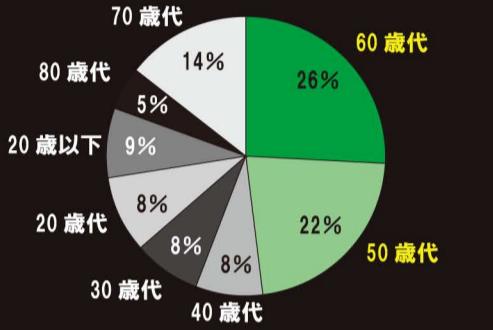
〒068-2192 北海道三笠市幸町 2
Email nii569@city.mikasa.hokkaido.jp

3 三笠ジオパーク推進協議会事務局

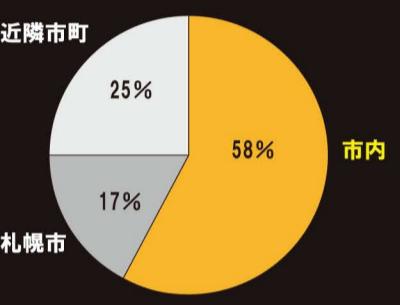


参加者傾向 参加者は 50 歳代 60 歳代が約半数を占め、市内からの参加者は約半数であった。

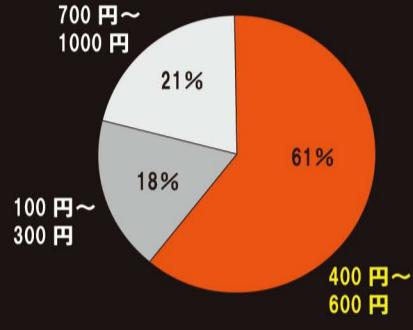
参加者の年齢構成比



参加者の居住地域



ガイド料アンケート / 人



参加者数 77 人 (男性 40 人、女性 37 人)

アンケート標本数 68 人

アンケートにおける参加者感想

「楽しかった」感想が大半を占めたが、体験内容などに関する感想として次のようなコメントがあった。

桂沢コース

化石の説明がわかりやすかった
ダム内部を見学できて良かった



達布山コース

歴史的人物が来ていたのを知った
ワインの種類や作り方の違いを聞けた



幌内コース

トロッコのスピード感が良かった
普段は行きにくい炭鉱跡地に行けた



コース別に体験できること

桂沢コース 太古の海と生命の足跡をたどる



ダムを見学できる

化石に触れる

野外博物館コース 大地の躍動と文明の鼓動を感じる



地質を学べる

炭鉱遺産を見学できる

幾春別・奔別コース 炭都の面影を楽しむ



炭鉱遺産を見学できる

人為的にできた滝を見学できる

幌内コース 石炭を輸送した鉄道を楽しむ



トロッコに乗車できる

炭鉱遺産を見学できる

達布山コース 歴史を学び、エコを楽しむ



郷土史を学ぶ

ワインを学ぶ

今後の取り組みに向けて

参加者の年齢層を意識した取り組みを進める

50 歳以上の参加者が 67% を占める結果となった。

石炭をテーマとし、炭鉱遺産などをジオサイトとする本構想では、石炭がエネルギーの中心であった昭和までの時代を想像しやすい環境にあるため、こうした年代に受け入れられ易い傾向があるものと考えられる。

今回のツアーアンケートの告知は、ポスターの掲示や広報紙への掲載、ホームページなどによるものであった。

参加状況から需要の中心は市内住民や近隣市町に居住する 50 歳以上の方にあることがわかり、今後はこうした方々に広く伝わる告知することで、周辺地域に本構想を浸透できるものと考えられる。

体験可能な内容をセールスポイントにする

参加者からは非日常的な体験ができたことへの喜びの感想が多く見られた。

化石・露頭・炭鉱遺産の見学、ダムの中を歩くこと、トロッコの乗車、ワイン製造者からの講話などの内容は、参加者にとって付加価値の高い要素となっており、貴重な体験となっていることがわかった。

この点を意識した告知をすることで、ジオツアーカーへの関心が増すものと考えられる。

持続可能なジオツアーカーに向けて

一人当たりが支払うガイド料金に関するアンケートを行い、参加者の目線と感覚からその妥当性を模索したところであり、500 円 / 人が目安になるところとの答えを得、今後、ガイド料金を設定する際の参考とする。

現在、本地域はガイドの養成とその組織づくりに着手する段階にあり、受け入れ態勢の整備など様々な課題があるが、本年もジオツアーカーを実施し、持続可能な取り組みに向けたノウハウの蓄積を図る。